埼玉大学教養学部開講「詩歌から考える日本語表現」(担当・新井高子)
特別公開授業

# セルビアの「笑い」

## ――東欧事情を踏まえて

日時：2026年7月16日(木)　13:00～14:30
於：教養学部棟24番教室　（予約不要、無料）

**講師　ディヴナ・トリチコヴィッチさん**

ベオグラード大学准教授
戯曲『お高くとまったひょうたん』共訳者
（ヨヴァン・ステリヤ・ポポヴィッチ著）
元・埼玉大学日本語日本文化研修留学生

〈講師からひとこと〉
ここ数年で、二冊のセルビア喜劇が日本語に翻訳されました。これらは19世紀前半のセルビア国家形成期から第一次世界大戦前後の時代をカバーし、昔の価値観にとどまらず、普遍的な人間の特性を描写しています。戦争がつづき、価値観が揺れる現代にもつながるでしょう。多民族的な地域で育った作家たちは、文学のみならず、政治・外交の分野でも重要な役割を果たしてきました。講義では、その時のセルビアの状況、作家たちの特徴、詩、その作品の内容などを紹介していきます。また、特有の風刺とユーモアにも注目します。そして、1927年に日本を訪れたセルビア女性詩人が、日本からインスピレーションを受けて書いた詩も紹介します。

日本学術振興会科研費「ウクライナの文学教育への協力を通しての世界文学研究の発展」（23H00615）事業